

曹洞宗

# 群馬県宗務所 第13教区報

第 9 号

令和3年1月1日発行

## コロナ禍を乗り越える

曹洞宗群馬県宗務所第13教区長 永隣寺住職 堀口元澄

令和3年の新春を迎え、本年が皆様にとって素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。昨年は、誰もが新型コロナに振り回され、日常生活も大きく変化し、普通のこと普通になくなった一年でした。13教区でも感染防止を考えて、例年大盛況の「微笑会」をはじめとした、この教区独自の活動がほとんど中止となりました。ワクチン開発の朗報はありますが、コロナ禍はまだ続きそうです。

その中で、昨年夏から11月いっぱいまで行われた「大般若経修復勧募活動」には、多くの方から浄財を寄せていただき、十分な資金が集まりました。この修復が完成した後、大般若経はイタリアに贈られます。明るく希望に満ちた話題が少ないこの頃ですが、日伊の僧侶合同で、世界の平和やみんなの幸福を祈願する大般若祈祷会を行う計画です。その様子を想像すると胸がわくわくします。

残念ながら現代の私たちには、自分さえよければという個人主義の考えが広がっています。そんな私たちに、このコロナ禍を乗り越えられるのかが試されているような気がいたします。仏教に「身口意の三業」という言葉があります。私たちは、自身の「むさぼり」「いかり」「おろかさ」のために、身と口と心から諸々の悪業を為してしまいます。そこで、「悪」ではなく「善」に向かうために、次のようにいたしましょう。

- ① 迷惑をかける行動を慎む。感染対策を徹底する。
- ② 悪口や根拠のないことを言わない。デマの拡散、個人の中傷はしない。
- ③ 自分には関係ない、自分さえよければ、という考え方をしない。

他者への思いやりの心をもって、もうひと踏ん張り、コロナ禍を乗り越えましょう。

13教区31ヶ寺院

富岡	菅原	南井	上下尾	下高田	上高田	宇丹生	宮崎	宮崎	一ノ宮	一ノ宮	下高瀬	富岡本	岡本	下仁田町	本宿	中坂	南牧村	檜沢	甘楽町	轟	天引	小幡	善慶	国峰	国峰	白倉	小川	秋川	秋川	小天竺	秋引	高崎市	上奥平
陽雲寺	最興寺	長学寺	生寿寺	永隣寺	金乗寺	神守寺	桃林寺	永乘寺	三會寺	連珠寺	光厳寺	海源寺	福寿院	長楽寺	延命寺	永昌寺	宝積寺	向陽寺	宝泉寺	福興寺	興善寺	長善寺	松泉寺	宝林寺	天徳寺	西光寺	松慶寺	寿福寺	泉龍寺	宗伝寺			

# ヨーロッパ通信



曹洞宗ヨーロッパ国際布教  
総監部総監

峯岸正典

テレワークだけでは済まないこともあり、パリにある曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監部に着任しました。最初の仕事はローマ出張でした。フランシスコ教皇らとご一緒に仏教代表として《パンデミックの終焉と平和への祈り》を捧げました。

このとき私は、島秋人が獄中で詠んだ「この手もて人を殺めし死囚われ 同じ両手に 今は花活く」という歌をもとに「一人の人間が善にも悪にもなれる。また人は誰でも、自らの身体でさえ、武器にすることができる。さらに、私たちの口から出る言葉でも、人は傷つく。まなごしでさえ、人はたじろぎ、自分が大切にされていないことにおののく。私たち一人ひとりの心の中にある、人を区別し、さげすむ気持ち、相手を打ち負かそうとする思いなどは、私たち自身を、多面的に展開可能な武器にしてしまう。そしてその武器をどう使うかは、私たちの心にゆだねられている」と語りかけました。

パリに戻るとすぐロックダウンです。十三教区の活動はリアルタイムで入ってきます。ヨーロッパで、あらためて十三教区の素晴らしさを感じています。そしてその教区を支えて下さっている檀信徒皆さまの菩提心に深く敬意を覚える日々を過ごしています。



フランシスコ教皇（第266代ローマ教皇）と謁見



国際布教師としてイタリア普伝寺に着任している堀口智玄師はコロナ禍の為、現在永隣寺に帰省し、副住職として活動されています。

## 大般若修復勧募のご報告

昨年7月から13教区寺院檀信徒の皆様より募っておりました大般若経修復勧募ですが、目標額を達成し、当初の予定どおり11月末日に締め切りとさせていただきます。沢山のご寄付ありがとうございました。13教区寺院一同、皆様よりお預かりしたお志と共に、イタリア普伝寺に大般若経を送り届け、現地僧侶との合同祈禱会を円成させたいと思っております。普伝寺の方でも、現地信徒から沢山の寄付が集まりました。また新型コロナウイルスによって大混乱の中、夢、希望を持てる企画をしてくださり感謝しているとの言葉をいただきました。一刻も早く世界中に蔓延する新型コロナウイルスが終息し、合同祈禱会ができることを祈るばかりです。

昨年末、寄付をしてくださった方々に、お礼状と大般若経についての本をお送りいたしました。届いていないという方がいらっしゃいましたらお手数ですが13教区事務局（永隣寺）までお知らせください。

大般若の功徳で蘇生した書生………	31
大般若経奉納の功徳………	33
伝兵衛の大般若………	35
どうして般若の面は………	37
恐ろしい顔をしているの………	39
仏教を学べば来世も安心………	44
（付録）御守般若心経 作り方………	44
※この本の最後に、切り取って作る「御守般若心経」が付いています。「般若心経」(中身)と「御守」袋と、どちらも説明文(44頁)に従って折りましたんで作れます。	

目次	
大般若会とは………	3
大般若経はどんなお経？………	5
般若の教え………	7
転読の意味………	11
大般若会とはどんなことをするの？………	13
導師の作法は扇のかなめ………	18
大般若会と太鼓………	20
祈禱すれば御利益がある？………	21
十六善神の軸には何が画かれている？………	23
大般若会が祈禱行事となった由来………	26
大般若を勧めた稲荷………	28
盗人と大般若………	29



## 宝積寺記念碑 開眼法要

日時：9月12日(土) 9時より

甘楽町轟宝積寺において、曹洞宗開創五百七十年大遠忌、平成の本堂大改修事業を祝う記念碑が完成し開眼法要が行われました。

富岡市長学寺住職生沼善裕老師を導師としてお迎えし、本尊様への報告諷経、除幕式、記念碑開眼法要が修行され、宝積寺の新たなシンボルが誕生いたしました。

記念碑には大事業にご協力をいただいた多くの方の名が刻まれています。



## 光厳寺 得度式

日時：11月21日(土) 13時30分より

光厳寺にて長男である松倉昊生君（高瀬小5年生）の得度式が行われました。得度式とは僧侶になるための第一歩となる儀式です。当日は新型コロナウイルス感染防止対策がなされ、ご親族やお世話人の方々に見守られる中、厳粛に執り行われました。



### 寶泉寺23世遷化

日時：8月24日(月) 逮夜 18時  
25日(月) 葬儀 10時30分

8月19日に甘楽町の寶泉寺23世・松慶寺先住伊藤知正老師（世寿70歳）が遷化されました。逮夜・葬儀の導師に宝積寺西有孝裕老師を拝請し、かぶら聖苑にて執り行われました。長年寶泉寺、松慶寺住職としてご尽力なされました。



### 福巖寺東堂19世遷化

日時：12月3日(木) 逮夜 18時  
4日(金) 葬儀 10時30分

11月29日に甘楽町の福巖寺東堂松浦英一老師（世寿95歳）が遷化されました。逮夜導師に永隣寺堀口元澄老師 奠湯師に最興寺村上虎雄老師 奠茶師に陽雲寺設楽正流老師 秉炬師に宝積寺西有孝裕老師を拝請し、かぶら聖苑にて執り行われました。福巖寺住職として寺門興隆に尽くし、甘楽町の為にも多大に貢献されました。



### 松泉寺 寺族逝去

日時：11月16日(月) 葬儀 10時30分

11月14日に松泉寺寺族 兼見信子様（世寿95歳）が逝去されました。葬儀は陽雲寺設楽正流老師がお勤めされ、しめやかに執り行われました。長年、寺族として松泉寺を支えられました。

### その他の13教区内寺院が参加した主な活動報告

- ・4月3日 教区リモート会議
- ・5月13日 陸前高田市支援物資お届け（宝林寺）
- ・6月8日 大般若経運び出し、状態確認（富岡市 長学寺にて）
- ・6月13日 大般若経修復工程会議（富岡市 長学寺にて）
- ・6月30日 新型コロナウイルス終息祈禱会（甘楽町 宝積寺にて）
- ・7月4日 臨時教区報編集会議（富岡市 永隣寺にて）
- ・7月7日 教区リモート会議
- ・10月12日 コロナ大仏建立プロジェクト支援祈禱（下仁田町 長楽寺にて）
- ・10月18日 緑蔭禅の集いライブ配信坐禅（前橋市 高峯院にて）
- ・11月11～12日 東日本大震災慰霊法要並びに南相馬市ボランティア活動（南相馬市ボランティアセンターにて）

